

海はないけど川がある！ 川の国埼玉

川の再生から「Next川の再生」&
「SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト」へ

—企業等と連携した川の保全・共生と河川空間の持続的な利活用—

背景

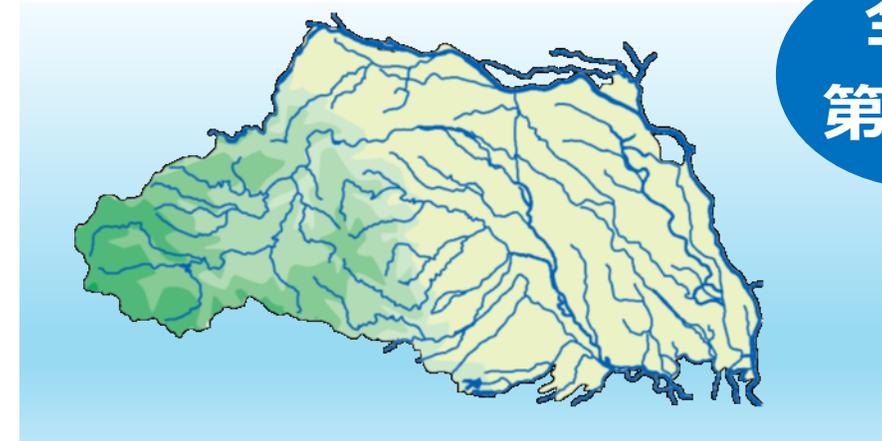
川のポテンシャルが高い埼玉県

荒川の川幅は日本一



日本一

県土に占める河川面積の割合 3.9%



川に近づきたいというニーズの高まり

高度成長期の都市化の進展により洪水被害が増加



都市部では川に近づけないゴミが捨てられ、環境が悪化



高まるニーズ



「川の再生」のこれまでの歩み

平成20年度から「川の再生」を
全庁的プロジェクトとして取り組む

ホップ ① 気運醸成

平成20年～

川はきれいで、身近な憩いの場を創出

4年で100か所の水辺を再生

「川の国応援団」の支援

「川の国愛県債」の発行

ステップ ② 浸透・拡大

平成24年～

河川の商業利用箇所数 日本一

河川空間のオープン化16か所

17河川の上流から下流を整備

観光と連携28カ所の拠点整備

川の国応援団は700団体以上に

(～H27)

ジャンプ ③ さらなる発展へ

令和3年～

埼玉版SDGsの推進

SDGs未来都市に選定 | R3. 5



Next 川の再生
「水辺deベンチャーチャレンジ」

SAITAMAリバーサポーターズ
プロジェクト
「リバサポ」

新たな取組 「Next川の再生」&「リバサポ」

Next川の再生・水辺deベンチャーチャレンジ

オーダーメイドの水辺づくり



連携

環境・社会・経済
三側面で
持続的な取組へ

SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト

企業・個人・団体の活動の活性化



魅力ある
水辺空間の創出

相乗効果

川を愛し、守り育む
意識の向上

川を愛し、守り育む意識を向上し、
魅力ある水辺空間に人が集まり賑わうという好循環

「Next川の再生&リバサポ」の特徴

① 多様な主体の参画 ～企業・団体・県民～

官民連携・企業間交流、地域連携



② 社会変化への対応 ～コロナ禍・DX～

アウトドアでのワーケーション志向の高まり、情報発信SNS活用



リバサポ・ポータルサイト・LINE

③ 持続性担保・経営的視点 ～地域活性化～

企画段階から企業等と連携、地域課題解決



④ 環境意識の醸成 ～川の価値の再認識～

身近な自然を体感、川の価値を再認識できる環境学習の提供



「Next川の再生&リバサポ」のメリット

Next川の再生&とリバサポ取組でWIN WINの関係づくり



地域活性化などの
社会課題解決

WIN

地域の観光振興
ブランディング



行政



住民・団体

企業等



活動支援
(ノウハウ、資金、マンパワー)

WIN

ビジネスチャンス・社会貢献
(SDGs、ESG投資)



これまでの成果①

河川空間のオープン化実績 (平成25年度から)

観光入込客数34万人増



年間売上額 9千万円

年間施設売上額(4月～翌年3月)※



※売上額には下記非公表3施設を除く11施設の売上額の合計
(入間川:スターバックス、都幾川:グランピング施設、荒川:ジオグラビティパーク)

これまでの成果②

新たな雇用と収益の拡大

入間川（狭山市）
河川敷で全国初スターバックスコーヒー開業

来店者数：年間24万人
関東で5番目の売上（R3.5月）



都幾川（ときがわ町）
プライベート河原のような特別な空間
人気のグランピング施設

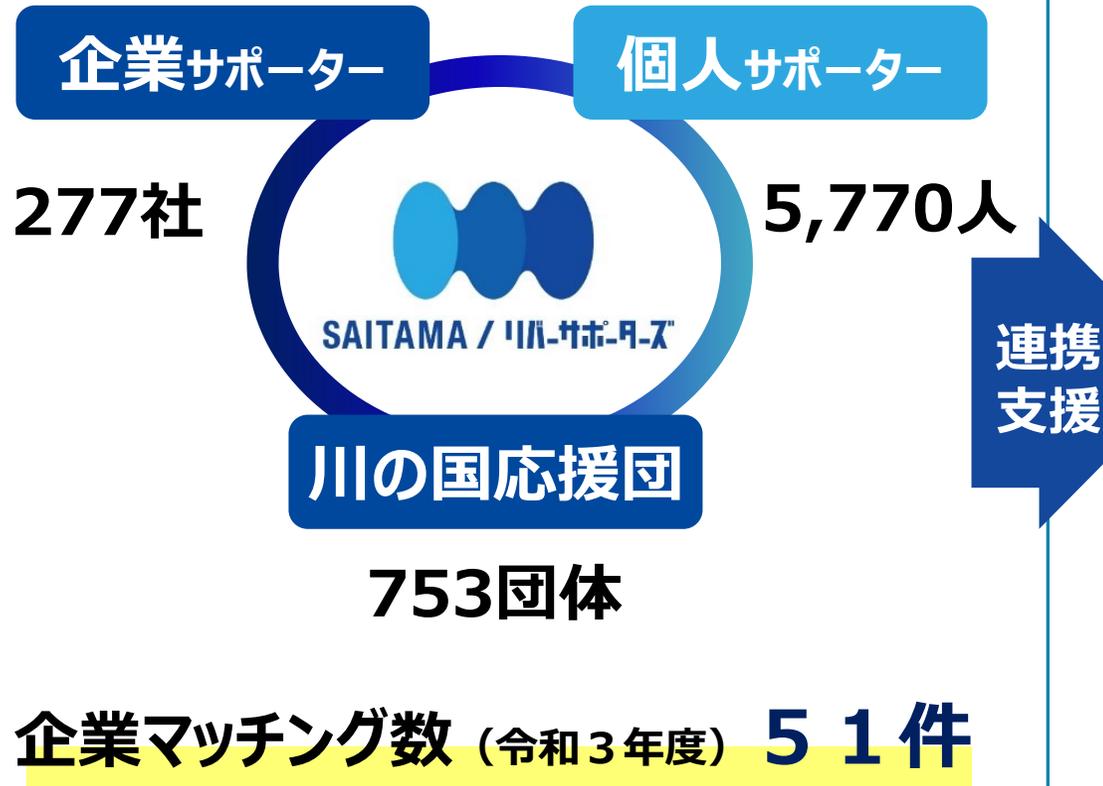
土日の予約はいっぱい、芸能人もお忍びで



これまでの成果③

リバサポの実績 (令和3年度から)

サポーター数 (令和4年8月現在)



リバサポマッチングの事例



ヨット乗降用リフトを応援団に寄贈



川辺でのワークショップイベント



カヌーでのごみ拾い



企業による子供向け体験イベント

今後の展開 さらなる川好きを増やす

川の魅力を全国に発信

県内各地にオーダーメイドの魅力的な水辺を創出し、川の国埼玉を全国に情報発信

越谷レイクタウン利活用イメージ



市と民間が
協定締結



多様な機会でも川への関心を高める

「リバチャリ」「リバ犬」など、さらに県民を川好きにする取組を展開

川沿いのアクティビティ と併せて美化活動



リバチャリ



バーチャル空間に川を再現、観光大使のライブ開催 700人参加
(新たなサポーター開拓)



バーチャル空間内の
越谷レイクタウン



今後の展開 グローバルな環境意識の醸成

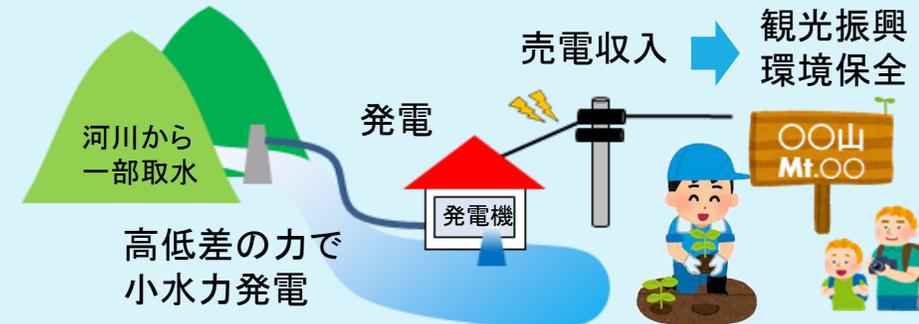
海洋汚染対策

川のゴミ拾いから海洋プラスチック汚染防止（活動団体支援）



カーボンニュートラルへの貢献

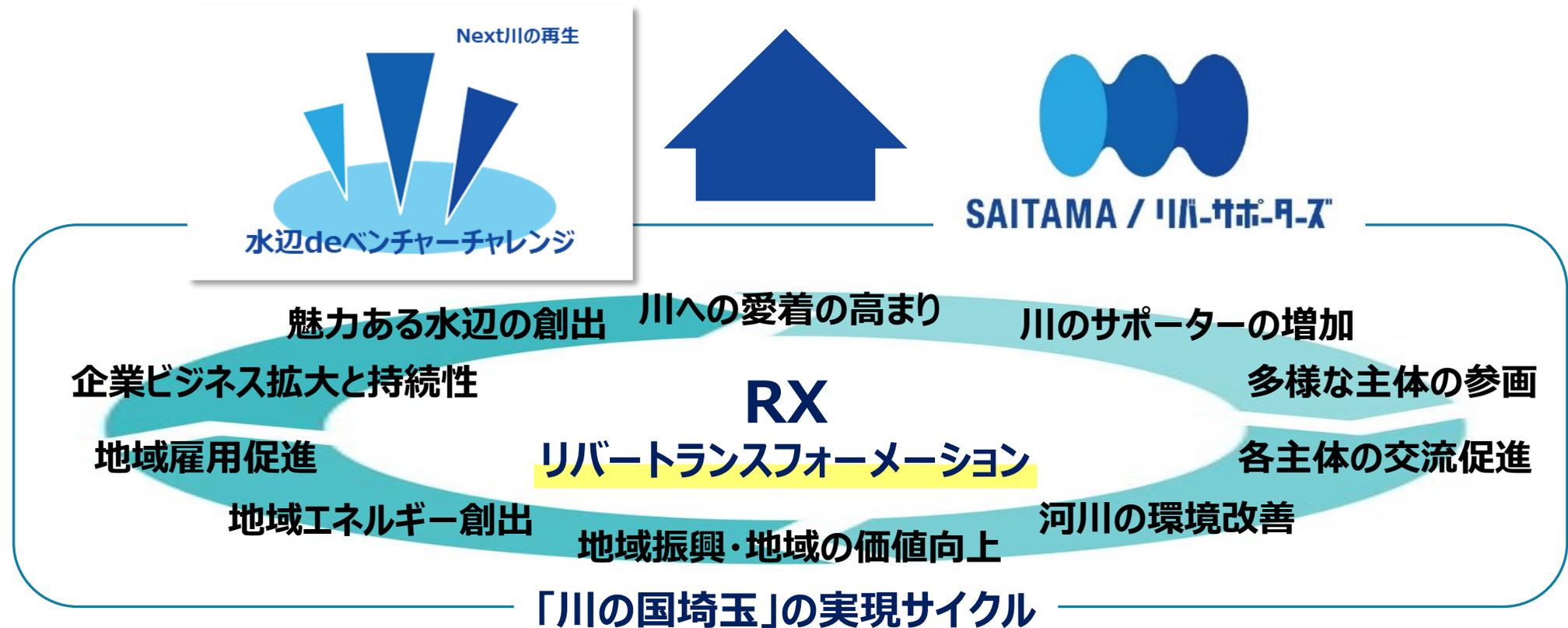
民間が一級河川で取り組む小水力発電支援



川との共生によるプラチナ社会の実現

日本一の川がある！

名実ともに「川の国埼玉」を実現し次の世代へ



ご清聴ありがとうございました



埼玉県知事 大野元裕